



高校生の
皆さんへ

部活動を お手伝いします！

「外国人住民の方とコミュニケーションをとりたい」「地域で活動している多文化共生の団体について知りたい」など、部活で活動するにあたっての情報提供や企画の立案など相談に乗りますので、ご連絡お待ちしております。

高校生などを対象としたセミナー情報については
こちらからインスタをフォロー！



お問い合わせ・お申し込み

公益財団法人 かながわ国際交流財団
高校派遣担当

住所 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民センター13階 多言語支援センターかながわ内

電話 045-620-5045 **E-mail** haken@kifjp.org

HP <https://www.kifjp.org/student/highschool>

高校国際教育支援事業 実施レポート2021

ちがいを豊かさに

～多文化共生社会“かながわ”に向けた人づくり・地域づくり～



➡多文化理解
➡国際教育の講師を
無料で派遣しました

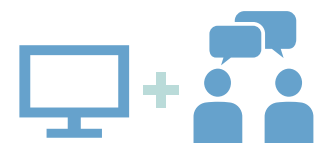
実施方法



オンライン



対面



ハイブリッド

講演会やワークショップなど、国際的に活躍する講師・留学生をよんだ企画の参考に
2021年度の実施レポートを出版しました。是非ご活用ください。



主催

公益財団法人 かながわ国際交流財団

後援

神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会

もくじ

2021（令和3）年度の実施レポート（概要）	3
個別報告（15校分）	4
● 向上高等学校 ● 神奈川県立伊志田高等学校 ● 神奈川県立七里ガ浜高等学校 ● 神奈川県立橋本高等学校 ● クラーク記念国際高等学校 ● 川崎市立橘高等学校 ● 神奈川県立横須賀大津高等学校 ● 横浜翠陵高等学校	● 神奈川県立川崎北高等学校 ● 神奈川県立松陽高等学校 ● 神奈川県立神奈川総合高等学校 ● 神奈川県立多摩高等学校 ● 神奈川県立愛川高等学校 ● 横浜創学館高等学校 ● 神奈川県立川和高等学校
先生方のご感想	34
これまでの実施校一覧	36
これまでのゲストの方々の繋がりのある国・地域一覧	38
部活動等へのお手伝い	40

事業概要

かながわ国際交流財団（KIF）は、「世界に開かれた神奈川、世界と結ぶ神奈川」を目指し、グローバルな視野を持ち、共生社会をつくる人材の育成や、県内における多文化共生の推進などを目的とした事業を展開する神奈川県所管の公益法人です。

一人でも多くの青少年が、異なる国の文化や状況について関心を持ち「世界の入口」に立ち、また、多様な文化や言語をもつ人たちと、より密接に関わり共生していけるよう、各種プログラムの企画相談・講師派遣を通じて、高等学校等の国際教育をサポートしています。

KIFでは第3期中期計画（2021－2025年度）の基本目標として『ちがいを豊かさに～多文化共生社会“かながわ”に向けた人づくり・地域づくり～』を掲げています。

2021（令和3）年度の実施レポート

- **実施件数** …… **15件**
 - 公立高校 …… 11校（内、県立高校 10校）
 - 私立高校 …… 4校
- 派遣授業に出席した高校生の人数 …… 3211人
- 派遣授業に出席した高校生の学年
（※1つの派遣授業で複数学年が出席する場合があります）
1年 …… 6 2年 …… 6 3年 …… 5
希望者だけ、ICC部活動委員、在県卒など様々な集まりでも実施された。

● 講師・ゲストの方々の繋がりのある国・地域

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| ● アメリカ | ● カメルーン | ● スペイン | ● ネパール |
| ● イタリア | ● 韓国 | ● スリランカ | ● フィリピン |
| ● ガーナ | ● カンボジア | ● 中国 | ● ブルガリア |
| ● カナダ | ● スイス | ● 日本 | ● ベトナム |

その他韓国・朝鮮に繋がりのあるゲストにもご講演いただきました。

● 実施方法

- 対面 …… 11
- オンライン …… 2
- ハイブリッド …… 2

● 実施時期

- 2021（令和3）年 5月 …… 1件
- 7月 …… 2件
- 9月 …… 1件
- 10月 …… 4件
- 11月 …… 4件
- 12月 …… 2件
- 2022（令和4）年 1月 …… 1件



向上高等学校 留学生との交流・ワークショップ

実施日 2021（令和3）年5月31日（月）

実施方法 ハイブリッド型（オンラインと対面）

対象 2学年 12クラス 461名

講師 留学生等13名（ベトナム6名、カンボジア5名、韓国2名）

- ベトナム ①ファン レ カムさん、②ホアン ナン タムさん、
③レ ティ ミン グエットさん、④ダン ティ ホン タンさん、
⑤トラン ティバオ ミーさん、⑥グエン ティホン リエンさん
- カンボジア ①ヘン シータイさん、②ジム シアンリーさん、
③プー ソティアロットさん、④チョン ソットソターさん、
⑤ハン スレイネットさん
- 韓国 ①イ スユンさん、②リ ドクウさん

ねらい

新型コロナウイルスの感染拡大がなければ修学旅行で行くはずだった国の留学生にそれぞれの国の事情を教えもらい、異文化交流を深める。

修学旅行を予定していた韓国、ベトナムとカンボジアについて、新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪問が見送られたので、その代替りとして3ヶ国の留学生からそれぞれの国の事情を教えもらい、異文化交流を深めました。

当日はベトナム人留学生6名が高校に行って対面で交流し、韓国人留学生や既卒者の方はオンラインで参加しました。またカンボジア人留学生も東京、宇都宮、さらには現地カンボジアの首都プノンペンからもオンラインで参加し、リアルタイムで繋がり母国の現状などを日本語で紹介してくれました。その後、訪問予定のグループごとに分かれ、留学生たちが準備したパワーポイントの映像資料などを見ながら、生徒が事前学習で覚えた現地の挨拶なども交えて終始楽しく交流することができました。



ベトナムグループ 対面で参加



カンボジアグループ オンライン参加



韓国グループ オンラインで参加

参加した生徒の感想

- 現地の留学生の方に来ていただき、色々な説明を聞いてとてもいい経験になりました。コロナが落ち着いた時に旅行したいと思います。
- 今回は韓国には行けないけれどいつかまた機会があれば教えて頂いた知識を利用して観光などに行けたら良いなと思いました！
- ほかの国の人の話を聞けることはめったにない貴重な機会だったと思うし、それぞれの国の魅力を知ることができたので良かった。

神奈川県立 伊志田高等学校

グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

実施日 令和3年7月16日（金）

実施方法 ハイブリッド型（オンラインと対面）

対象 1～3学年 21クラス 812名

講師 ①余琴さん（会社員）

中国（福建省）出身。2010年4月に留学生として初来日。県内の日本語学校卒業後、学習院大学の哲学科に進学し、卒業後大手電機メーカーに就職、訪日外国人相手の部署で勤務し、外国人社員の教育・研修にも従事。留学、結婚、出産、育児などすべてを日本で経験し、自らグローバル人材として異国の地で活躍中。昨年より電機メーカーを退職し、現在は旅行関係の仕事に従事している。

②星野ルネさん

（漫画家／タレント／放送作家）
アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日後、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を活かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを見だし、幅広い層を対象とした講演多数。

③エソダ・バスネットさん

（翻訳・通訳者）
ネパール出身。留学生として2005年来日。横浜国立大学・大学院で国際協力分野の博士課程単位を取得し、その後、国際理解、ジェンダー、キャリア教育や多文化共生などをテーマに高校や大学などにおいて日本語や英語で講演を多数行っている。

ねらい

国際的視野をもつきっかけとすることとグローバルパーソンになるために自分たちに今できることを探り、自分自身の意識改革につなげる。

例年、伊勢原市文化会館で一人の講師を招き講演をしていたプログラムであったが、新型コロナウイルス感染対策として密を避けるために3か所の会場で、各講師に講演をしていただきました。

国際的視野をもつきっかけになればという願いで、海外に繋がりのある方や元留学生で企業などで活躍している講師に、グローバルパーソンとして自分の経験話を話していただいた他、母国の社会状況やコロナの影響など国際理解や時事問題などについても触れ、高校生も関心をもって聞き入っていました。日本語を学び、日本で活躍しているゲストの体験談を写真やクイズ等もあり、高校生にとっても自分事として考えるきっかけになりました。



余琴さん



星野ルネさん



エソダ・バスネットさん



▲エソダ・バスネットさん（ネパール）

余琴さん（中国）▶



▲星野ルネさん（カメルーンと日本）



参加した生徒の感想

- 自分達がいつも当たり前と感じているようなことも他の国の人からすれば珍しいものだったり驚くようなことに気付かされました。
- 国が違うだけで色々な文化や価値観が変わってくることを改めて学びました。でも国だけで分けるとかではなく、その人一人一人が別の人間なのでその人のことをよく知ることが大切だと思いました。
- 自分の可能性を広げるために語学を学ぶ事や海外の文化に触れる事は重要だと分かった。外国の映画や音楽を聴いてみようと思った。

神奈川県立松陽高等学校 多文化社会を生きる

実施日 2021（令和3）年9月27日（月）

実施方法 オンライン

対象 2学年 14クラス 556名

講師 星野ルネさん（漫画家／タレント／放送作家）

アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日後、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を活かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを見だし、幅広い層を対象とした講演多数。



ねらい

国際交流や国際理解講演会を通じてより広い視点でものごとを見られるようになってほしい。また、「国際」というと自身の生活とは関わりが少ない言葉のように感じるが身近なことであり、また今後もますます身近になっていくことを感じてほしい。

カメルーン出身で日本で育った講師が、ふたつの国での体験を通して文化の違いへの戸惑いや周囲からの偏見を、優劣ではなく「違い」と考えるようになるまでのさまざまなエピソードについて具体的に話をしました。「郷に入っては郷に従え」「絶望の材料が固定観念と狭い視野であるなら、希望の材料は柔軟な考えと広い視野」など自らの体験から出てきた言葉や、講演のスライドでも漫画家ならではの絵やイラストも数多く使いながら、生徒にも分かりやすいかたちで伝えてもらいました。Google Meetを使ったオンラインで実施しましたが、講師もオンラインでのレクチャーに慣れていて問題なく実施することができました。



星野ルネさん講演の様子



各教室の生徒の様子

参加した生徒の感想

- 星野さん自身の体験からの漫画でイメージしやすく、今までの自分の考え方とは違う広い視野を持つということの重要性に気付きました。
- ルールや規則は国によって違いがあるので固定概念にとらわれて否定するだけではなく考えのひとつとしてとらえることが価値観の違いを分かち合えるきっかけになることを改めて感じる事ができました。
- 多様化する社会の中で自分の当たり前が必ずしも他者の当たり前でないという考え方や先入観や固定観念に囚われない考え方が必要だと思った。

神奈川県立七里ガ浜高等学校

グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

実施日 2021 (令和3) 年10月8日 (金)

実施方法 対面

対象 23名 (1, 2学年の姉妹校交流プログラムの参加者)

講師 チェ ヨンソン 崔 英善さん (韓国語講師、さがみはら国際交流ラウンジ副代表)

2000年来日。慶應義塾大学院修士課程修了
神奈川県立相模原総合高等学校等の韓国語講師
バイリンガル人材ネットワーク代表
新宿自治創造研究所研究員や藤沢市多文化推進
職員等歴任



授業の様子

ねらい

韓国の姉妹校とのオンライン交流プログラムの参加者が事前学習として、講師から韓国語と韓国文化についてお話を聞き、理解を深める機会とする。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で韓国を訪問する姉妹校交流ができないため、オンラインで交流することとなりました。そのための事前学習として講師としてチェさんを招いて、韓国語や韓国文化について理解を深めました。

韓国語による自己紹介の方法や交流する相手校の生徒の生活の様子、韓国の一般的な情報などについて学び、2人1組になって韓国語で自己紹介の練習をする時も生徒たちは積極的に参加していました。講演で触れられた現代の韓国についての情報は生徒の皆さんの大変関心のある部分のようで興味をもって聞いており、特に韓国の大学進学率が8割で、受験勉強のため毎日夜11時過ぎまで学校に残って勉強をするため部活などが無い学校も多いことなど、生活の違いには驚いていました。

参加した生徒の感想

- 韓国の文化や韓国の高校生のリアルが写真を交えて説明してくれて、分かりやすかったです。個人的には寮生活の話に驚きました。韓国語の歌を体を動かしながらだったので覚えやすくて良いなと思いました
- 韓国のマナーや習慣をそのまま教えてくれるのではなく、なぜそうなったのか日本とどうして違うのかを教えてくれて面白かったです。めちゃめちゃ楽しかったです。日本語上手だし、話し方が上手で、韓国のこと沢山聞けてよかった。
- 先生はとても言葉の使い方が素晴らしくて、私たち日本人生徒に一生懸命に伝えようとしてくれてとても楽しい講演会でした。今日の話であったように、韓国では悪い人だと教えられた人物も日本では偉人として扱われていたりひとつの視点だけで考えるのではなく多面的に物事を考えることが大切なのだと感じました。今回スウォン高校の皆さんとの交流の機会を自分で掴み取ったのだから、しっかりと学習し楽しみながら将来に向けてプラスに出来たらいいと思いました。

神奈川県立神奈川総合高等学校 多文化社会を生きる

実施日 2021（令和3）年10月23日（土）

実施方法 対面

対象 26名

講師 矢野デイビッドさん
（ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、明星大学客員講師）



ねらい

私たちが住んでいる日本にある「多文化」「異文化」への理解を深め、問題や課題に気づき、文化の異なる人と交流することの本質的な意味を考え、生徒がエンパワーメントされることを目標としたい。

講師の矢野さんは日本とガーナ両親の母親との間に生まれ、最初は日本へ移住するも文化の違いから母親はガーナへ帰国し、児童養護施設で少年時代を送ったそうです。そうした生い立ちから得た教訓について具体的なエピソードを交えながら話をしていただく中で、特に「やってみないと分からない」ことや「失敗から学ぶこと」などのメッセージは生徒にも響いていました。

事前に矢野さんも出演している映画「ハーフ」を視聴していた他、当日は県内の留学生も複数参加して矢野さんが講演の中で投げかけていた問題についてグループディスカッションを行いました。その後「ハーフの人とどうやって接したら傷つけなくて済むのか」「生きづらさ」「グローバル化」「異文化理解」などのトピックで、留学生からのお話と生徒からの質疑も行われ充実した内容となりました。



矢野デイビッドさん講演



学生を囲んでグループディスカッション

参加した生徒の感想

- 自分の価値観だったり、生き方を言語化することってなかなかなかったけど、デイビッドさんの経験を聞いて、自分も同じような価値観で生きてきたから、前よりも自分を理解できた気がします。自分の中で改めて腑に落ちた感じがします。
- あれほど壮絶な過去を乗り越えてきたデイビッドさんだからこそ言える「生きた言葉」を聞くことが出来てとても貴重な経験でした。個人的に質問しに行った時も、本当に丁寧に回答していただき、自分もこのような人になりたいと強く思いました。デイビッドさんが言ったように「小さな一歩」を踏み出すことで可能性はいくらでも広がるのだなと思いました。
- 失敗していいからとにかくなんでもやってみることが大事なことを矢野さんの講演の中での大きな学びでした。自分たちの身近なことで、履修登録や委員会などがありますが、うまくいかなかったらどうしようという気持ちがあってもなかなかチャレンジできないので、興味があることからなんでもやってみて、失敗したらそれを今後に生かして努力することが大事なんだと思いました。

神奈川県立橋本高等学校

グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

実施日 2021（令和3）年10月25日（月）

実施方法 オンライン

対象 1学年8クラス 287名

講師 金 成東さん（ワンダーラボ株式会社 事業開発ディレクター）

神奈川県生まれ。神奈川県立橋本高等学校、横浜国立大学工学部卒。大手総合商社に7年間在籍し、インフラ建設案件に関わり約20ヶ国を訪れる。その後、「違うことが面白い」と考える教育を実践すべく、教育スタートアップにてアプリ開発に関わる。



ねらい

高校が推進する「国際理解教育」に関連して、国や個人の価値観・多様性についての視点が育めるような講座を実施し、自己肯定感の向上および自己の価値観への自信を持てるようになってほしい。

金さんは「違い」をテーマにして、人と違うことは、いいことか、悪いことか、という問いから始めて、生徒から事前に提出してもらったアンケート上での「幸せになる上で何が一番大事だと思うか」という問いに対する答えを引用しながら、友だち、家族、お金、目標など、それぞれ幸せの価値観も人によって違う、それをむりやり同じに統一しようとするから様々な問題が起こるのだ、と問題提起をしました。

講演では在日コリアンとして、子どもの頃のこと、国籍は韓国籍を自分で選択したこと、朝鮮学校に通っていた13年間は「違い」について考えさせられる連続であったこと、そこから今の考えが生まれてきたことを段階を踏んで説明していました。生徒たちは、大手商社に勤務し世界各国の人々と海外の現場で仕事をしたことなどの経験で培った多様性を重んじる気持ちや、違いが当たり前の世界を目指して教育に着目し、現在、国を超えて子どもたちをつなぐアプリの開発などを行っている積極的な姿勢などをしっかり受け止めたと思います。



金 成東さん



教室の様子



配信の様子

参加した生徒の感想

- 自分の知らなかった韓国や朝鮮、日本の関係を初めて聞いて多くのことを学べました。多様性を認め合い国と国とがさらに協力し合う世界になったらいいと思いました。
- 海外の方の価値観の違いや日本に対する考え方を知ることが出来た。色々な国に行きそこで疑問に対する自分に出来ることを考え、行動に移すことがとても凄いことだと感じた。
- 多文化を受け入れることと認めることが必要だと思いました。それに向けて行動しているところはとても尊敬します。ありがとうございました。

神奈川県立多摩高等学校

留学生との交流・グループワーク

実施日 2021（令和3）年10月28日（木）

実施方法 対面

対象 3学年 7クラス 273名

ゲスト 留学生5名（横浜デザイン学院）

- | | |
|----------|------------|
| ①ロシア | マリアノさん |
| ②ルーマニア | ニコレッタさん |
| ③アメリカ／日本 | カウシルコウヨウさん |
| ④アメリカ | アキさん |
| ⑤ネパール | マヘスさん |

ねらい

文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定により、研究開発の一環として生徒の探求学習成果発表をポスターセッションやプレゼンテーションの形で英語・日本語にて実施。留学生に見てもらい、英語でコメント等を受け、英語力、プレゼンテーション能力の向上をはかる。

SSHの成果報告会として、科学系のテーマで研究活動の成果発表を行い、それぞれ「天然由来のプラスチック製作」「ビル風を利用した風力発電」「果物由来の環境に優しい洗剤」といった工夫されたテーマ設定と研究内容でした。ゲストとして横浜デザイン学院の留学生4名が参加してくれましたが、高校生のポスターセッション発表は日本語だったため、日本語学習中の留学生にとっても勉強になることが多く、時折英語で質問をして高校生たちもがんばって英語で答える姿も見られました。発表の内容もさることながら留学生、生徒双方にとってコミュニケーションの難しさを経験し、更にそれぞれの夢に向けて専門課程や語学学習の重要性に気付く貴重な体験になったようです。



プログラムの様子

参加した生徒の感想

- 海外の方に自分の伝えたいことを正しく伝えるのは思っていたより難しいんだなと感じました。でもみなさん理解しようとしてくださってありがたかったです。
- 全員で発表全体を英語で発表できるように準備していたので、しっかり伝わったと言ってくれて嬉しかったです。私たちが分からなくなってしまった時も、推測してアドバイスしてくださったので勉強になりました。
- 留学生の方々が熱心に聞いてくださり、私たちも発表しやすかったです。私達の実験と似たようなことを聞いたことがあると言ってくださり、より発表内容を深めることができました。

クラーク記念国際高等学校

グローバルな視野で活躍する人と出会う・
進路を考えるきっかけをつくる

実施日 2021（令和3）年11月5日（金）

実施方法 対面

対象 7名（2年生、3年生）

講師 上條直美さん（認定NPO法人開発教育協会顧問）

大学生時代に国際協力と開発教育に出会い、ライフワークとする。青少年教育や開発教育の分野で仕事、ボランティア活動に長年携わる。開発教育協会では、教材開発やファシリテーター研修などに関わる。



教室の様子：教材



ねらい

グローバルな視野で活躍する人材と体験談を通して、生徒一人ひとりが自分自身を振り返り、自己を見つめ直す絶好の機会であり、今後の自身の人生観に影響を与える、教育的効果を期待したい。

クラーク高校ではゼミで世界経済や貿易の問題点、人権などを扱っていることを踏まえ、教材「パーム油のはなし 地球にやさしいってなんだろう」を使用したワークショップが行われました。教材にはパーム油の生産、輸出入の状況や、プランテーションによる熱帯林の伐採と生物多様性、気候変動への影響、先住民の生活問題、労働者の問題など、開発問題を総合的に考える内容が盛り込まれています。

ロールプレイを利用して、自分自身の意見と役割としての意見を比較し、どんな気持ちを抱いたか、異なる意見の合意形成はいかに難しいかを体感してもらいました。議論の過程で、自分の意見が変わったり、心が動いたり、新たな意見が形成されたりするプロセスを通じた対話することの重要性に気づき生徒たちにもワークショップは大変、好評でした。

参加した生徒の感想

- マレーシアの熱帯林の問題に触れたことが全く今までなかったので、興味関心を持つきっかけになりました。
- 消費者主体で需要と供給のバランスを変える必要があると思いました。
- 問題は知っても国事情を知らないから身勝手な意見が増える傾向があるように思う。

神奈川県立愛川高等学校 多文化社会を生きる

実施日 2021 (令和3) 年11月6日 (土)

実施方法 対面

対象 1年生 11名

講師 ①アリソン・オパオンさん
(ミュージシャン、在日フィリピン人自助組織「KAFIN」横浜代表)

フィリピン・ミンダナオ島出身。環境問題など社会問題を伝えるメッセージソングを歌うほか、役者・演劇ワークショップのファシリテーターとしても活動。直近では舞台「虹む街」に出演(2021年6月・神奈川芸術劇場)。

②田中 浩平さん
(青年海外協力隊ネパール会会長)

新潟県出身。ネパールで青年海外協力隊員として活動した経験を持ち、帰国後、全国各地でネパール音楽紹介イベントなどを行っている。所属するシャプラニール劇団では、ネパールを題材にしたシナリオを作成し、演劇ワークショップを行っている。協力隊ネパール会会長。

ねらい

他国の文化や音楽などを体験的に学び、多文化社会を生きる力を養う。

今回はスペイン、ブラジル、ドミニカ共和国、フィリピン、ペルー、カンボジア、ベトナム、ルーマニア等の国々に繋がりのある生徒たちのクラスで、音楽という共通言語を通して体験型の文化理解プログラムを実施しました。

初めに、ボールまわしゲームやじゃんけんゲーム等で参加者同士が打ち解けるような内容から始めて、ネパールの映像資料、歌や楽器(笛、太鼓等)の演奏をして、続いてフィリピンの話(歴史)や歌を歌ったり、ゲームなどをしました。

生徒はゲームや歌、楽器演奏などを通して表情もどんどんほぐれてきて、身体を使った活動をととても楽しんでいました。日本語がまだうまく話せない、来日間もない生徒たちにとっても、音楽だからこそ皆と一緒に楽しむことができたようでした。一方で、幼少の頃に来日し、フィリピンに暮らしていた時期が短かった生徒にとっては改めて母国のことを学べて良かったという感想もあり、母語や母国文化理解の大切さについて考えさせられる場面もありました。

プログラムの様子

アリソン・オパオンさん
フィリピン国籍
フィリピンの紹介、
楽器のワークショップ、
歌、ゲームなど



みんなで歌う様子



フィリピンの竹の楽器を演奏

参加した生徒の感想

- ネパールについて、前よりも知識が深くなりました。楽器だったり、音楽、民族、そして宗教などこの授業を通して知れたことがとても良かったです。フィリピンは自分の母国でも、初めて聞くゲームや音楽でびっくりしました。本当に楽しい時間になりました。ありがとうございました。
- 世界の音楽、おもしろかったです。

川崎市立橘高等学校

留学生との交流・ワークショップ

実施日 2021（令和3）年11月12日（金）

実施方法 対面

対象 1～3年 29名（ICC部所属）

講師 横浜デザイン学院 留学生 3名

①イタリア LUCINI ELENAさん

②カナダ TRAN DUNGさん

③アメリカ POHL ISAAC ALLENさん

ねらい

ICC（International Cross-Cultural Committee）では異文化理解をテーマに英語を用いて国際交流活動を行っており、様々な国の留学生と英語での交流を通して、ものの見方や考え方について視野を広げるきっかけとする。

イタリア、カナダ、アメリカの留学生とICCクラブの生徒の間でリラックスした雰囲気の中で交流することができました。課題設定や議論する内容などを決めず、留学生の母国や自分自身のことなどざくばらんな交流を通して、“楽しい”体験をすることで、今後の生徒たちのモチベーションが高まったり、進路へのポジティブな影響が期待されるプログラムとなりました。

コロナ禍で対面式のグループディスカッションをすることができない期間が長かったですが、マスク着用などの感染対策を講じつつ交流ができました。国際関係に進路を希望する学生も多く、留学生との交流は良い経験になったようですし、留学生にとっても年齢の近いネイティブ日本人と会って話す機会がこれまであまりなかったので、双方にとって有意義な時間となりました。



交流の様子

参加した生徒の感想

- 留学生の方の出身国のおすすめの場所や食べ物など、わかりやすく写真等を使って教えて下さったり反対に、日本について質問して下さったのが印象に残っています。三人の方のうちのお二人としか今回はお話しすることができなかったけど私にとって良い交流会になりました。ありがとうございました。
- 英語で活発にやりとりできたことがとても新鮮だった。3名だったということもあり、比較的多くの時間を交流に使えたのも嬉しく思いました。

横浜創学館高等学校

多文化社会を生きる

実施日 2021（令和3）年11月18日（木）

実施方法 対面

対象 3学年 国際英語クラス60名

講師 ビオリーナ・ニコローバさん

（マーケティングプランナー・異文化理解講師）

ヨーロッパ数か国に住んだ経験があり7か国語を操る。15歳で来日、高校と大学を卒業。日本の大手メーカーで8年間マーケティングに従事し、2019年に独立。現在は日本全国の地場産業マーケティングプランナーとして活躍中。



ねらい

海外にルーツのある方から異文化の話を聞く中で、多文化社会を色々な人と共生していける気持ちを育むきっかけにする。

講師のビオリーナさんは1989年、ブルガリア生まれ、ブルガリア人の母、イタリアとギリシャのハーフの父をルーツにもち、国籍はブルガリアでヨーロッパの複数の国に暮らした経験があることから、スペイン語、フランス語、チェコ語などを含め、7か国語を操ります。日本には、15歳のときに単身で来日し、日本の高校、大学を出て、Sonyで8年間グローバルマーケティングの仕事を経験したあと、独立し、マーケティングプランナー、クレイセラピストなどを行っています。

異国の地で現地の言葉を取得し、現地の人々は様々な地域から集まった多様なアクターと仕事をしている経験から、丁寧に人とのコミュニケーションを通じて、人とのつながりを作り、自分らしくあることの大切さを伝えていただきました。また「人をよく観察したり、人からどう見られているかを気にする性格が、コミュニケーションにおいてむしろさまざまなことに気づくことができるという意味でプラスの要素だ」と指摘、より良い関係性を築くコミュニケーションを大切にしようと呼びかけ生徒たちも頷き応じていました。質疑応答の時間を30分と長めにとったことで、どんな言語を話せるのか、日本に来たときにどうやって高校を見つけたか、どんな経験が一番印象に残っているか、など具体的な質問がたくさん出ました。



講演会の様子



会場の様子

参加した生徒の感想

- 私は、将来海外で生活、仕事をしたいと思っているので、コミュニケーションについてたくさんを知れて、すごくためになりました。話を聞いて私も色んなところに行ってみたいと思いました。
- 今日はさまざまな国の人とコミュニケーションをとるにあたって、何が必要なのか、それと元々コミュニケーションはなんなのかをそれぞれ考えてみて、人によってそれぞれモノの価値も違うし、捉え方も違ってくることを感じた、凄く勉強になる講演会でした。
- 改めてコミュニケーションは大事なことだなと実感しました。自分はコミュニケーションをとることが得意ではなくて関わろうと全然できないけど、今の自分ではいけないなと思い、自身を変えたいなと思いました。ありがとうございました。

神奈川県立横須賀大津高等学校 留学生との交流・ワークショップ

実施日 2021（令和3）年12月1日（水）

対象 3年生 2クラス16名

講師 横浜デザイン学院 留学生5名

アメリカ ①上土井健太郎 Cyrusさん、②アキさん

カナダ ①トラン ヤンさん

ルーマニア ①ニコレッタさん

ブラジル ①矢澤アンドレさん

ねらい

1クラス10名の少人数クラスで、直接、英語で聴く、話すことで、講師の生き方、考え方に触れ、相互の文化理解と国際感覚を養う。英語でのコミュニケーションスキルの向上と、表現力の向上を期待している。

留学生と交流する50分の特別授業において、自己紹介、高校生によるウェルカムスピーチ、グループに分かれて交流（ローテーション）、印象に残ったこと等を感想で述べ、最後はクロージングスピーチという構成で実施しました。英会話のクラスを選択して履修している生徒たちなので、留学生との交流がスタートすると自ら進んで積極的に英語で交流し、最初から笑い声のたえない楽しい雰囲気を作り出していました。

様々なバックグラウンドの留学生がいるので英語でコミュニケーションが取れても、出身国と国籍が一致していない方も多く、いろいろな国でコミュニケーションとして英語を使っていることから、独特の英語訛りがあることにも気が付き、実社会では臨機応変に対応しなければならないことから対話を続ける大切さについての気づきもあったようで良かったです。



外国人学生5名 グループ交流の様子

参加した生徒の感想

- 他国の人と英語を通して交流できた機会はとても貴重だった。また自分の英語力を向上させていきたいと思った。
- いつもと違う外国人と話すと、その国の英語の独特な訛りがあり聞き取りが難しい部分があっても、こうした短時間で色々な人と話す機会はあまりないため今回の交流はためになった。

神奈川県立川和高等学校 留学生との交流・ワークショップ

実施日 2021（令和3）年12月6日（月）

実施方法 対面

対象 1年生 8クラス 317名

講師 柏木実業専門学校留学生（1年生）8名+スタッフ1名、計9名

ネパール ①グルン ナビンさん、②タマン アニルさん、
③ネウパネ バヌバクタさん、④グルン ユバ ラズさん、
⑤ラミシャネ ススミタさん

スリランカ ①ラタナーヤカ ムディヤンセラーゲ ミュウランギ アヌパ
マ ラタナーヤカさん

②パラダーナ ムディヤンセラーゲ チャミラー ニシャン
ティ ダサナーヤケさん

ベトナム ①ファム クアン アンさん、②クアット ティ タイン ヒエンさん

ねらい

芸術文化をテーマとした文化交流を実施。留学生と生徒が相互に自国の芸術文化の紹介や体験を行い、将来グローバル・リーダーとして活躍するために求められる力を養うきっかけとなること。

留学生の皆さんはその国の正装やスーツなどのフォーマルウェアで来校し、留学生と生徒から、それぞれ自国文化紹介のプレゼンテーションが行われました。留学生のプレゼンは、自国の歌、お祭り（踊り）などの具体的な紹介を通して、その意味について解説していただきました。

8クラス×2コマで合計16クラス（1年生）で文化交流教室として実施したプログラムでは留学生の文化紹介の他、生徒からの日本文化紹介（音楽：篠笛、書道、美術：食品サンプルづくり）があり、最後に留学生からコメントをもらう構成で実施しました。中には実際に書道体験をしたクラスなどもあり、留学生にとっては日本文化に触れる良い機会となりました。



ネパールの歌を歌う



ベトナム アオザイの試着



生徒さんたちの日本文化紹介（篠笛・書道）



ネパールのお祭り紹介



スリランカの留学生

参加した生徒の感想

- コロナ禍でますます諸外国との交流が減ってしまっている中、こうした交流の機会を得ることができたのは貴重だと思いました。交流したスリランカは日本と異なる部分が多いようでしたが、講師の方々を見るに国民性の高い国なのかなと感じました。そう感じるくらいわかりやすく愛国心溢れるプレゼンでした。
- 外国の文化について知ることはあっても直接知れる機会はなかったので、今回知ることができとても良かったです。また、自分の国の文化についても改めて考え、知ることができました。
- 留学生の方の一生懸命伝えようとする気持ちが伝わってきて、よい講演会だった。

横浜翠陵高等学校

留学生との交流・ワークショップ

実施日 2022（令和4）年1月29日（土）

実施方法 対面

対象 1年生 42名

講師 ヘン・シータイさん（カンボジア国カンボチャム州出身）

宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科 博士課程に在籍
在日カンボジア留学生協会会長
カンボジア国立技術大学等で日本語教員としての勤務経験あり
クメール語の翻訳・通訳も行う



ねらい

留学生、または日本に長期滞在している外国籍の方から自国の事情や暮らしについて伺い、視野を広げ自ら外国へ出向いたり、多文化社会を生きるヒントをいただくこと。

1時限目ではカンボジアのチリ、歴史、文化、有名な観光地、教育制度、生活などについて写真や動画を使って詳細に説明していただき、2時限目では主に講師が日本に留学するきっかけとなったお話や、留学生として、勉強やアルバイトだけでなく、幅広くボランティア活動をすることによって貴重な経験をすることが大切であるというメッセージをいただきました。

カンボジアの教育事情や日本との違いが詳細に語られて、興味深い点がたくさんありました。日本にカンボジア留学生が現在300名ほどいて、全国にいる人たちをシータイさんの協会が支援しているというお話や、シータイさんが法廷通訳も含めて通訳ボランティアをしている話など、非常にがんばっておられる様子が伝わり心を動かされました。

最後に、カンボジアの言葉であるクメール語の挨拶をみんなで練習しました。普段直接会うことや話ことが少ないカンボジアの方がゲストだったこともあってか、熱心にノートをとったり、質問に積極的に答えたり、また終了後にも講師に質問をしに来る生徒の姿もありました。



講義の様子



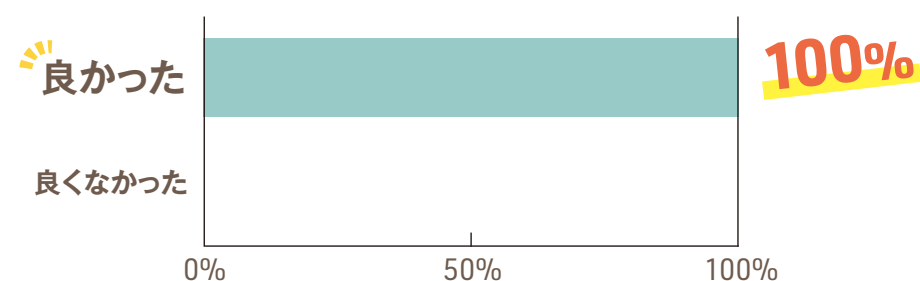
クイズに答えた生徒に
賞品のカンボジアのお札をプレゼント
（カンボジアにODA／JICAが作った橋を記念して日本の国旗があしらわれている記念札）

参加した生徒の感想

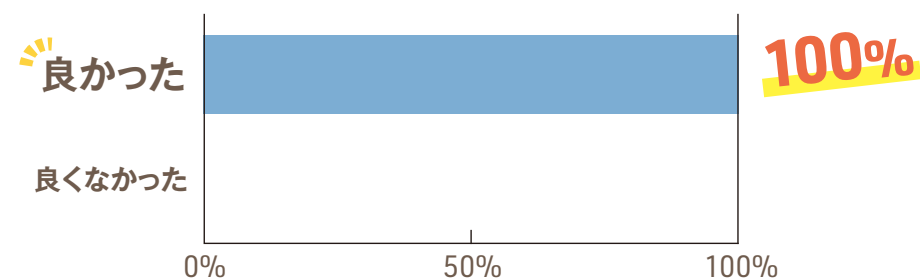
- もちろんカンボジアについて知れましたが、それ以上に人として大切な事を学ぶことが出来ました。
- これまで私は、カンボジアについて詳しく知らなかったけれど、シータイさんの講演を聞いて詳しく知ることができたと思うし、もっと知りたいと思いました。私にとってのカンボジアのイメージは、内戦をしていて子供の教育が滞っていたり、地雷の不発弾がたくさんあって危ない、という、少し危険な国のイメージがあったけれど、シータイさんの写真や動画を交えた解説を聞いて、思っていたよりとても発展しており、先進国のような高層ビルや都市の街並みには驚き、私のカンボジアのイメージが大きく変わりました。また、私は果物が好きなので、日本では高級なスイカやマンゴーが、カンボジアでは安くおいしく手に入る、という話にとっても興味がわきました。私もカンボジアに行ってみたいです。
- 留学に対する心構えなどを教えてもらいとてもありがたかった。

先生方のアンケート結果

Q 事業全体はいかがですか？



Q 講演・ワークショップはいかがですか？



Q 本事業に申込んだ理由は何ですか？（複数回答可）

- 校外のリソースを活用してより充実した内容としたかった 9
- 外部から講師を呼びたかったが予算がなかった 5
- 国際教育をテーマとした講演／ワークショップを実施した
かったが、内容・講師についての情報がなかった 4
- 留学生との交流機会が欲しかった 1

先生方の感想（一部）

- スライド、動画、衣装や紙幣の実物を使って、非常にわかりやすい講演でした。急遽短縮授業になりましたが、柔軟に対応いただき助かりました。生徒たちはこれまで知っている国のイメージとの違いを知る機会となりました。
- 本授業を通して、日本と途上国がいかに密接に関連しているか、日本人が現在享受している生活水準が途上に支えられているということに関して「気づき」を促された。この「気づき」を通して、各自が自己の生き方を見つめ直し、今後の人生をどのように築いていったらいいか考える良いきっかけになったものと推察する。どうもありがとうございました。
- この度は、誠にありがとうございました。おかげさまで、生徒も限られた時間の中で自己を表現し、他者を理解する態度を養うことができたのではないかと考えております。コロナ禍で連絡や調整が難しい所、ご配慮いただき感謝しております。ありがとうございました。
- 留学生ごとに異なるバラエティに富んだ内容で、こちらもとても興味深く拝見させていただきました。生徒もこのような機会があるからこそ、発表に向けて、より自国の文化について理解することが促せたと思います。他文化理解やグローバルな視野を持つ良い機会になりました。ありがとうございました。
- このような状況の中、オンラインでの実施となりましたが、柔軟に迅速にご対応いただき非常に助かりました。思い切って実施してよかったです。また今後ともお世話になることがあるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。
- この度は短い準備期間の中で本校の要望のほとんどに答えていただき心より感謝しております。オンラインでの取り組みはコロナ禍にあって初めて実用化されたスキルです。また、ご参加いただいた留学生の皆様にも十分な準備をしていただいたことで、生徒にとっても韓国・ベトナム・カンボジアについて親近感を持つことが出来たと思います。今後とも交流を持たせていただければと思っております。重ねて、本当にありがとうございました。

これまでの実施校一覧

派遣授業を実施している2009年度から2021年度までの実績

県立高校

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| ● 愛川高校 | ● 港北高校 | ● 橋本高校 |
| ● 麻生高校 | ● 栄高校 | ● 氷取沢高校 |
| ● 麻生総合高校 | ● 相模向陽館 | ● ひばりが丘高校 |
| ● 厚木高校 | ● 相模原青陵高校 | ● 平塚江南高校 |
| ● 綾瀬西高校 | ● 座間総合高校 | ● 平塚商業高校 |
| ● 有馬高校 | ● 七里ガ浜高校 | ● 藤沢総合高校 |
| ● 伊志田高校 | ● 松陽高校 | ● 保土ヶ谷高校 |
| ● 磯子高校 | ● 城郷高校 | ● 三浦臨海高校 |
| ● 岩戸高校 | ● 住吉高校 | ● 向の岡工業高校 |
| ● 海老名高校 | ● 逗葉高校 | ● 元石川高校 |
| ● 大楠高校 | ● 西湘高校 | ● 弥栄高校 |
| ● 小田原高校 | ● 瀬谷西高校 | ● 大和東高校 |
| ● 追浜高校 | ● 相武台高校 | ● 百合丘高校 |
| ● 神奈川総合高校 | ● 多摩高校 | ● 横須賀大津高校 |
| ● 神奈川総合産業高校 | ● 茅ヶ崎高校 | ● 横須賀高校 |
| ● 金沢総合高校 | ● 茅ヶ崎西浜高校 | ● 横須賀明光高校 |
| ● 鎌倉高校 | ● 津久井高校 | ● 横浜旭陵高校 |
| ● 上鶴間高校 | ● 鶴見総合高校 | ● 横浜国際高校 |
| ● 川崎高校 | ● 鶴嶺高校 | ● 横浜翠嵐高校 |
| ● 川崎北 | ● 永谷高校 | ● 横浜清陵総合高校 |
| ● 川崎工科高等学校 | ● 新羽高校 | ● 横浜立野高校 |
| ● 川和高校 | ● 白山高校 | ● 横浜平沼高校 |
| ● 希望ヶ丘高校 | ● 柏陽高校 | ● 横浜緑ヶ丘高校 |
| ● 久里浜高校 | | |

(全日制、定時制校を含む)

横浜市立

- 東高校
- みなと総合高校
- 南高校
- 横浜総合高校

川崎市立

- 高津高校
- 橘高校

横須賀市立

- 横須賀総合高校

私立高校

- アレセイア湘南高校
- 神奈川学園高校
- 慶應義塾高校
- 向上高等学校
- 相模女子大学高等部
- 逗子開成高校
- 自修館中等教育学校
- クラーク記念国際高校 横浜キャンパス
- 橘学苑高校
- 森村学園高校
- 横浜国際女学院翠陵高校
- 横浜女学院高校
- 横浜翠陵高等学校
- 横浜創学館高校
- 横浜隼人高校
- 横浜雙葉高校
- 横須賀学院高等学校

高校以外では神奈川県高等学校国際教育研究協議会主催のセミナーなどにも派遣した実績があります。

これまでの講師・ゲストの方々の 繋がりのある国・地域一覧

- イタリア
- イラン
- インドネシア
- ウクライナ
- ウズベキスタン
- エジプト
- オーストラリア
- オランダ
- ガーナ
- カザフスタン
- カタール
- カナダ
- カメルーン
- カンボジア
- コスタリカ
- コロンビア
- コンゴ民主共和国
- シリア
- シンガポール
- スイス
- スウェーデン
- スーダン
- スペイン
- スリランカ
- セネガル
- タイ
- デンマーク
- ドイツ
- トルクメニスタン
- ネパール
- ノルウェー
- バングラデシュ
- フィリピン
- フィンランド
- ブラジル
- フランス
- ブルガリア
- ベトナム
- マレーシア
- ミャンマー
- メキシコ
- モンゴル
- ルワンダ
- ロシア

その他、中国、台湾、韓国・朝鮮などに繋がりのある方、無国籍の方などもゲストとして高校生にお話ししていただきました。

講師紹介

本事業で講師をお願いした方々等のインタビュー動画を右のQRコードで読み取り、ご覧聴することができます。講師の手配は、下記の方々に限定せず、プログラムの希望を踏まえて候補を探します。



1



矢野 デイビッド

ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、明星大学客員講師

ガーナ出身。日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、ガーナで起きた暴動事件の影響により6歳から日本に移住。主な講演テーマは、アイデンティティ、マイノリティ、人種差別、国際交流、異文化共生など。

2



エンソダ バスネット

翻訳・通訳者、国際理解講師

ネパール出身。留学生として2005年に来日。横浜国立大学・大学院で国際協力分野の博士課程単位を取得し、その後、国際理解、ジェンダー、キャリア教育や多文化共生などをテーマに高校や大学などにおいて日本語や英語で講演を多数行っている。

3



上條 直美

認定NPO法人開発教育協会（DEAR）顧問、生涯学習コーディネーター

大学生時代に国際協力と開発教育に出会い、ライフワークとする。青少年教育や開発教育の分野で仕事、ボランティア活動に長年携わる。開発教育協会では、教材開発やファシリテーター研修などに関わる。

4



星野 ルネ

漫画家、タレント、放送作家

アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日後、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を活かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを見だし、幅広い層を対象とした講演多数。

5



ビオリーナ ニコロバ

マーケティングプランナー、異文化理解講師

ヨーロッパ数か国に住んだ経験があり7か国語を操る。15歳で来日、高校と大学を卒業。日本の大手メーカーで8年間マーケティングに従事し、2019年に独立。現在は日本全国の地場産業マーケティングプランナーとして活躍中。

6



金 成東

ワンダーラボ株式会社 事業開発ディレクター

神奈川県生まれ。神奈川朝鮮中高級学校、横浜国立大学工学部卒。大手総合商社に7年間在籍し、インフラ建設案件に関わり約20ヶ国を訪れる。その後、「違うことが面白い」と思える教育を実践すべく、教育スタートアップにてアプリ開発に関わる。

7



豊田 らま

早稲田大学 非常勤講師、東洋大学 客員研究員

シリアのダマスカス出身。ダマスカス大学で土木工学を専攻、横浜国立大学大学院で修士号・博士号を取得。高校、大学やカルチャーセンターなどでアラビア語、イスラーム文化理解や在住外国人としてのご自身の経験などを講演形式で発信中。

8



佐々木 聖壘

多文化ユースプロジェクト、自治体職員

中国瀋陽市出身。中学校卒業後に来日。フリースクールに一年間通ったのち、高校、大学へと進学した。横浜市の公務員として勤務する傍ら、外国につながる子どもたちの進路や学習支援を行う「多文化ユースプロジェクト」のメンバーとして活躍中。

9



ファム ティ ビエン テュイ

株式会社TPRESE 社長

2006年に留学生として初来日。東京工業大学・大学院で経営工学を専攻。修了後日本企業に勤務し、3年後独立。外国人材を企業に紹介する会社を設立し社長に就任。日本とベトナムの架け橋としてベトナムの文化や言葉の理解促進に努めている。